宗教文化論 II

科目ナンバリング　RES-102
【Ⅱ】　選択　2単位

筒井　史緒

1. 授業の概要（ねらい）

本講義では、生きることについて、とりわけ幸福と愛について考えます。題材として、テレビ番組「水曜どうでしょう」をとりあげ、人間はどうあれば幸福であるか、どのように生きれれば魂が充足するか、自分の本質を生きるとはどういうことか、について、さまざまな切り口から考察を深めます。

バラエティ番組を宗教学でとりあげることに、戸惑いをおぼえる方もいるでしょう。また「宗教」と聞いて、「あ、オレ無宗教なんで」「宗教ってなんか危ない」といった反応をもつ方も多いかと思います。

ですが「宗教」を、もっと広く、「自分が人知を超えた領域に生かされていると考えることで、精神的ニーズを満たす」ものと考えると、人はとても宗教的な生き物であるといえます。人生の価値、目に見えないものへの直観、生を喜びで満たしたいという願い、愛がどんな食物より生き物を養うこと……人間は、ただ肉体的に生存していればいいというものではなく、ここにこうして生まれ、生き、経験し、死んでいくことの「意味」を、食べずには生きていけない存在なのです。さらに言えば、わたしたちが求める生の「意味」とは、人によりどのような道を辿ろうとも、けっきょくは「幸福」へと帰着してゆきます。幸福という意味を求め、それに養われる存在であるわたしたちは、なんらかのかたちで、深く、生の根源へ、愛へ、幸福へとつながりたいと願っているのではないかと思います。そして、それが実現したとき、わたしたちは本当に生きていることを実感し、魂の奥底から充足するのではないでしょうか。

そして、「水曜どうでしょう」は、既存の宗教とはまったく違ったかたちで、しかし非常に高度に、究極的な「幸福」を提示しており、それによって観るひとを楽にして（場合によっては救って）いるのではないか、わたしはそう考えています。

授業は毎回、そのときのわたしが辿りついた最新の思索アップデート報告のような形をとる予定です。そのライブ感を共有し、個々が自分自身の生と照らし合わせながら、生きることについて思いを深めてもらえたら、と願っています。

秋期には、主に、宇宙や意識の構造を考察しながら、幸福はどのように現実化させることができるか、について考えます。

また、授業時には、ゲストスピーカーをお招きすることもあります。

2. 授業の到達目標

「宗教」の意味を問いなおし、「生きること」「幸福」「喜び」「愛」といった、一見よく知っていることばのもつ意味、広がり、多層性、多様性、深み、共同性などについて、各自思索を深める。

自分が生きていることを、新しく深いまなざしで見られるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験にて評価。受講態度もあわせて考慮する。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤村忠寿・嬉野雅道著　『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの悩むだけ損！』　アスキー・メディアワークス刊
藤村忠寿・嬉野雅道著　『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの続・悩むだけ損！』　アスキー・メディアワークス刊
藤村忠寿・嬉野雅道著　『人生に悩む人よ藤やん・うれしーの続々・悩むだけ損！』　アスキー・メディアワークス刊
藤村忠寿・嬉野雅道著　『腹を割って話した』　イースト・プレス刊
藤村忠寿・嬉野雅道著　『腹を割って話した（未知との遭遇）』　イースト・プレス刊
藤村忠寿・嬉野雅道著　『水曜どうでしょう写真集No.2』　北海道テレビ放送刊
嬉野雅道著KADOKAWA　『ひらあやまり』　中経出版刊
*以上は参考書なので、購入の必要はありません。図書館の指定図書コーナーに所蔵してあります。

5. 準備学修の内容

日常に潜む宗教的次元に、敏感に着目してみる。

古今東西のさまざまな宗教あるいは宗教的現象に、興味をもち調べ考察してみる。どうしてその時代その土地でそのような宗教が生まれたのか、現代に通じるものがないか、考えてみる。

自分が生きているということを、客観的に観察する。

6. その他履修上の注意事項

本講義内容は、抽象的な話題であり、単位を取るのも簡単ではありません（毎回聴講し、理解していることを前提で、学期末に持ち込みなしのテストもしくは長いレポートが課されます）。また、事前に抽選を行います。聴講可能人数も限られますので、本当に聴きたい！という方のみ、登録申請をするようにしてください。

授業を聴く、という受動的態度ではなく、授業をたんに自分にとってのインスピレーションの種と捉え、深く自由に思索してください。みなさんそれぞれにとって、本来の自分にたどりつくための旅の糧になりますように。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　長谷哲学・エゴとセルフ
【第3回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　潜在意識の不要な物語
【第4回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　右脳と左脳
【第5回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　存在不安と安心感
【第6回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　幸福とは安心感である
【第7回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　二つの認識の共存を生きる
【第8回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　嬉野さんの役割　俯瞰と慈しみ
【第9回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　嬉野さんの役割　物語から抜け出す
【第10回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　ミスタさんの役割　ビオスの豊穣
【第11回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　ミスタさんの役割　可愛いということ
【第12回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　藤村さんの役割　世界は安心である
【第13回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　大泉さんの役割　社会は深刻ではない
【第14回】　「水曜どうでしょう」を宗教学する／「水曜どうでしょう」から宗教学する　安田さんの役割　宇宙に寄与すること
【第15回】　まとめと試験